

# 自立活動部だより

第1号 平成26年5月27日発行

## 自立活動の基本を押さえよう!

自立活動は特別支援教育の肝とも言えるもの。『でも、なんだか分かりにくい…。』そう思ったことはありませんか？本号では自立活動の指導において大切にしている視点を紹介します。

### 1 自立活動の目標

個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う

## KEYWORD

#### 自立を目指す

困ったときは人の手を借りたり、便利なものは使っていくよ。  
今よりももっとカッコイイ自分を目指していこう!

#### 障害による困難の改善・克服

自分の苦手なことをきちんと受け止めるよ。  
難しいことにも自分から挑戦するぞ!

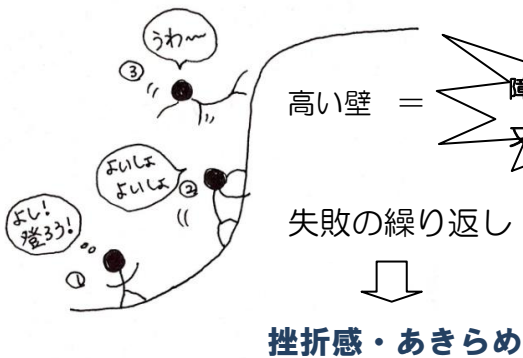


#### 心身の調和的発達の基盤を培う

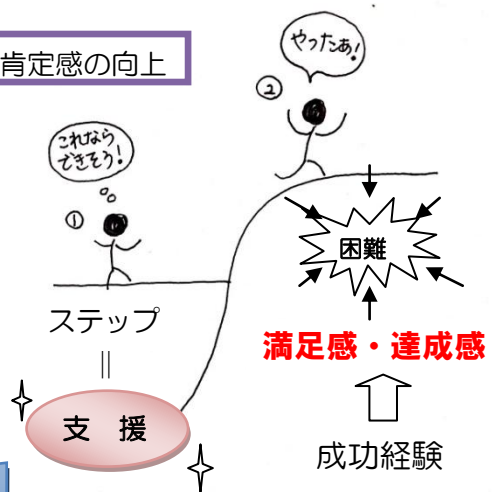
勉強も、運動も、仲間づくりも全部がんばるよ。  
得意なことを生かして社会参加できる人になるぞ!

### 2 自立活動における支援のイメージ

#### 自己肯定感の低下



#### 自己肯定感の向上



- 一人一人の実態に応じたオーダーメイドの指導
- 弾力的な指導

## 自立活動

ICF の考えを踏まえて

### 3 自立活動の内容

自立活動の『自立』とは、『主体的に自己の力を可能な限り発揮し、よりよく生きていこうとすること』です。支援を受けながらも自らの意思で、自分らしく生きていこうとすることであり、自立＝独り立ちにとどまらず、広い意味をもっています。

自立活動には6区分26項目の内容が示されていますが、これらを全て教えるのではなく、子どもの実態に応じてそれらを組み合わせ、一人一人に指導内容を考えます。

自立活動は、時間を設けて指導する場合もあれば、教育活動全体で指導する場合があります。指導は個別の目標に対応するものでなければいけませんが、コミュニケーションの指導のように、集団の中で学ぶことが効果的な場合もあります。

#### 自立活動の指導を行うための視点

##### 健康の保持

- 体調変化の見分け方（体温・脈拍・顔色等）
- 生活のリズム（睡眠・覚醒・食事等）
- 健康状態（呼吸・体温調節・感染症・アレルギー等）
- 食事・栄養（栄養・水分・摂取・食形態・口腔機能等）
- 排泄（前兆・感覚・便秘等）
- 発作・服薬
- 安全（危険物・危険箇所等への配慮等）

##### 身体の動き

- 筋緊張・変形・拘縮等
- 上肢機能
- 姿勢保持能力（適応反応・バランス・座位・立位等）
- 姿勢変換・移動能力

##### 人間関係の形成

- 対人マナー
- 状況理解・こころの理論
- 集団参加
- 感情のコントロール
- 行動のコントロール
- 仲間関係の開始・維持

##### 心理的な安定

- 活動への意欲
- 好きな人（家族・教師等）
- 好きなもの・事（対象・関わり方）
- 嫌いな（苦手な）対象・活動
- 留意事項（情緒的な安定・性格・行動等）

##### 環境の把握

- 前庭覚・固有覚・触覚
- 視覚（視力・視野・明暗・注視・追視等）
- 触覚（聴力・音への気付き・意味理解等）
- 協応動作（目と手・耳と手等）
- 弁別・類別（素材・色や大きさ・属性等）
- 基礎的な学習能力

##### コミュニケーション

- バーバル・ノンバーバルコミュニケーション
- コミュニケーションに関する基本的な意欲
- 感情の表出  容認・拒否の表現
- 要求・思い等の表現
- 指示・誘い等の理解
- 発声・発語の様子
- 支援機器の活用